

生駒駅南口 まちづくり通信

令和4年11月 vol.03

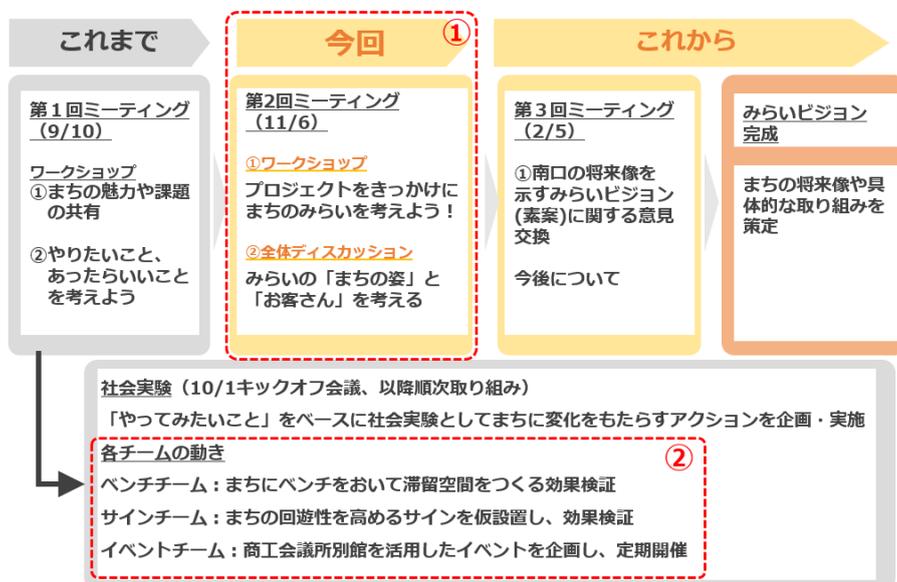
《 ① 第2回 生駒駅南口
みらいミーティング 》
《 ② 社会実験3部会 》

日程：11/6（日） | 場所：生駒市コミュニティセンター | 参加：30名※①

生駒駅南口の未来を考えるまちづくりのはじめの一步として9月に開催した第1回目につき、11月6日に地域の住民の方、南口あるいは市内で事業を営んでおられる方、地域の自治会長、まちづくりに関心をお持ちの方などにお集まりいただき「第2回生駒駅南口みらいミーティング」を開催し、引き続き未来の南口がどんなまちになればいいか話し合いました。

また、第1回目のみらいミーティングで募った有志の市民や関係者のもと3つの社会実験部会を順次進めており、11月以降は将来のまちの姿をイメージしながらまちに変化を起こす取り組みを行っていきます。

■今年度の流れ



第2回みらいミーティング集合写真



アドバイザー・宮部教授 (近畿大学)



①第2回みらいミーティング

11月6日に開催した第2回みらいミーティングでは、様々な地域でまちづくりの実績があり、本ミーティングのアドバイザーである、近畿大学・宮部教授より、まちの資源を活用し、にぎわいづくりに成功している事例等をご紹介いただきました。さらに、奈良先端科学技術大学院大学・諏訪准教授からもご自身の研究やまちづくりに関係するアプリなどをご紹介いただいたほか、裏面に記載した3つの社会実験チームから進捗報告を行い、状況を共有しました。

まちのみらいを考えるワークでは、第1回目みらいミーティングなどで参加者から出た“南口でやりたいこと・あったらいいと思うこと”をもとに、「場づくり・施設整備」「滞留空間づくり」「まちなみづくり」「チャレンジ支援・にぎわいづくり」「情報発信」など、5つのテーマに分かれて、思い描く将来のまちの姿を話し合いました。

各テーマとも議論が盛り上がり、それぞれ以下のような意見が出てきました。

まちづくりのテーマ	未来の南口のイメージ(一部抜粋)
場づくり・施設整備	まず地元で楽しめる場づくり/日曜日のアーケードがにぎわう
滞留空間づくり	ご近所が立ち寄れる/他の人を誘って交流できる
まちなみづくり	今の雰囲気を残す、過去と現在がつながるまちなみ
チャレンジ支援・にぎわいづくり	チャレンジしやすい・したくなるまち
情報発信	市内の人が楽しみ、市外の人も魅力を感じる

